まちのわだい　ズームイン

広報担当がどこにでも取材に行きます。
あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課　☎㉓0052　✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

砂煙を上げ疾走するサラブレッドは迫力満点

砂浜周回コースを力強く疾走

■第39回さがら草競馬大会

国内唯一の砂浜を周回する「第39回さがら草競馬大会」が４月26日、さがらサンビーチで開催されました。

かつて中央競馬や地方競馬で活躍したサラブレッドを含む49頭の馬が、１周約700メートルのコースで競い合いました。

当日は天候に恵まれ、県内外から約３万人の競馬ファンや観光客などが訪れ、砂煙を上げて力強く疾走する競走馬の迫力に、大きな歓声が上がりました。

この他、子どもによる人間草競馬や宝探しなどが行われ、会場は大いににぎわいました。

来場者は「馬がとても速く、すごい迫力でびっくりした」と話し、疾走する馬に目がくぎ付けになっていました。

地域の安全安心は我々が守る

■平成27年度市消防団辞令交付式

市消防団辞令交付式が４月６日、静波体育館で行われ、新入団員71人と女性消防隊員２人が新たに辞令交付を受けました。

野ケ本好剛団長は、「若い力を十分に発揮し、自覚と責任、誇りを持って活動してほしい」と新入団員を激励。新入団員の今野翔太さん（相良区）は、「自分の力が、少しでも地域のためになるよう訓練に励んでいきたい」と抱負を語りました。

交付式後、新入団員は幹部団員から、気を付けや敬礼などの規律訓練を受けました。

野ケ本団長から辞令交付を受ける新入団員の今野さん

満開の桜のトンネルを歩く見物客

春空に満開ソメイヨシノ約1,500本

■勝間田川さくらまつり

地元町内会「どんぐり会（原靖雄会長）」が主催する、勝間田川さくらまつりが４月４日、５日に開催されました。

勝間田川に沿って、およそ1,500本のソメイヨシノによる、桜のトンネルが作り出され、多くの見物客は、満開の桜に魅了されていました。また、会場では焼きそばやおでんなども販売され、花見を楽しむ家族などでにぎわいました。

夜間にはライトアップされ、昼間とは違う幻想的な桜の美しさを演出していました。

「勝間田城侍ソーラン」を披露する勝間田小の児童たち

つつじに包まれて春を体感

■勝間田公園つつじまつり

勝間田公園つつじまつりが４月12日、勝間田公園で行われました。

勝間田公園のある三栗山（標高89.8m）には、ミヤマツツジ（学名：コバノミツバツツジ）が群生し、昭和54年に静岡県の天然記念物に指定されています。

山頂広場では、勝間田小学校５・６年生34人の児童による「侍ソーラン」の披露や地域のお茶農家さんから新茶が振舞われ、たくさんの人が春の訪れを楽しみました。

看護師を目指し仲間と共に歩む

■県中部看護専門学校入学式

県中部看護専門学校の入学式が４月８日、同校講堂で行われました。

今年度の入学者は45人で、本市からは山本枝里佳さん（勝間田区）、浅野美咲さん（川崎区）、西谷瑠夏さん（細江区）、吉村椎菜さん（波津区）、辻優花さん（牧之原区）の５人が入学。

入学生を代表して、吉村さんは「不安や涙を笑顔に変えられるような看護師を目指したい」と決意を述べました。

生徒は３年間、看護の理念や技術を学びます。

左から山本さん、浅野さん、西谷さん、吉村さん、辻さん

勝利のため最善の一手を指す

■牧之原市小学生将棋大会

牧之原市小学生将棋大会が４月18日、富士山静岡空港ターミナルビル２階で行われました。

県内の小学１年生から６年生の32人が参加。子どもたちは、真剣な表情で盤面を見つめ、最善の一手を指していました。また、プロ棋士の佐藤慎一五段による指導対局も行われ、プロからのアドバイスに、子どもたちは目を輝かせていました。

優勝した小学５年生の永井大さん（浜松市）は「優勝する自信はあった。プロを目指して実践練習をしていたい」と話してくれました。

優勝を目指して戦う児童たち

指導員からアドバイスを受けトレーニングに励む利用者

憩いの場として健康増進と体力づくり

■ぐりんぱるフィットネスジムオープン

ぐりんぱるフィットネスジムのオープンセレモニーとオープンイベントが４月11日、12日にぐりんぱるで行われました。

ジムには、ランニングマシンやエアロバイク、筋力トレーニングマシンなどを設置。利用者は「このジムに通って、体を引き締めたい」と話し、汗を流していました。

また、市体育協会の本目武彦会長は「みんなの憩いの場として、健康増進などにぜひ利用してください」と話しました。